

都市再生整備計画(第3回変更)

みつかいどう
水海道地区

いばらきけん じょうそうし
茨城県 常総市

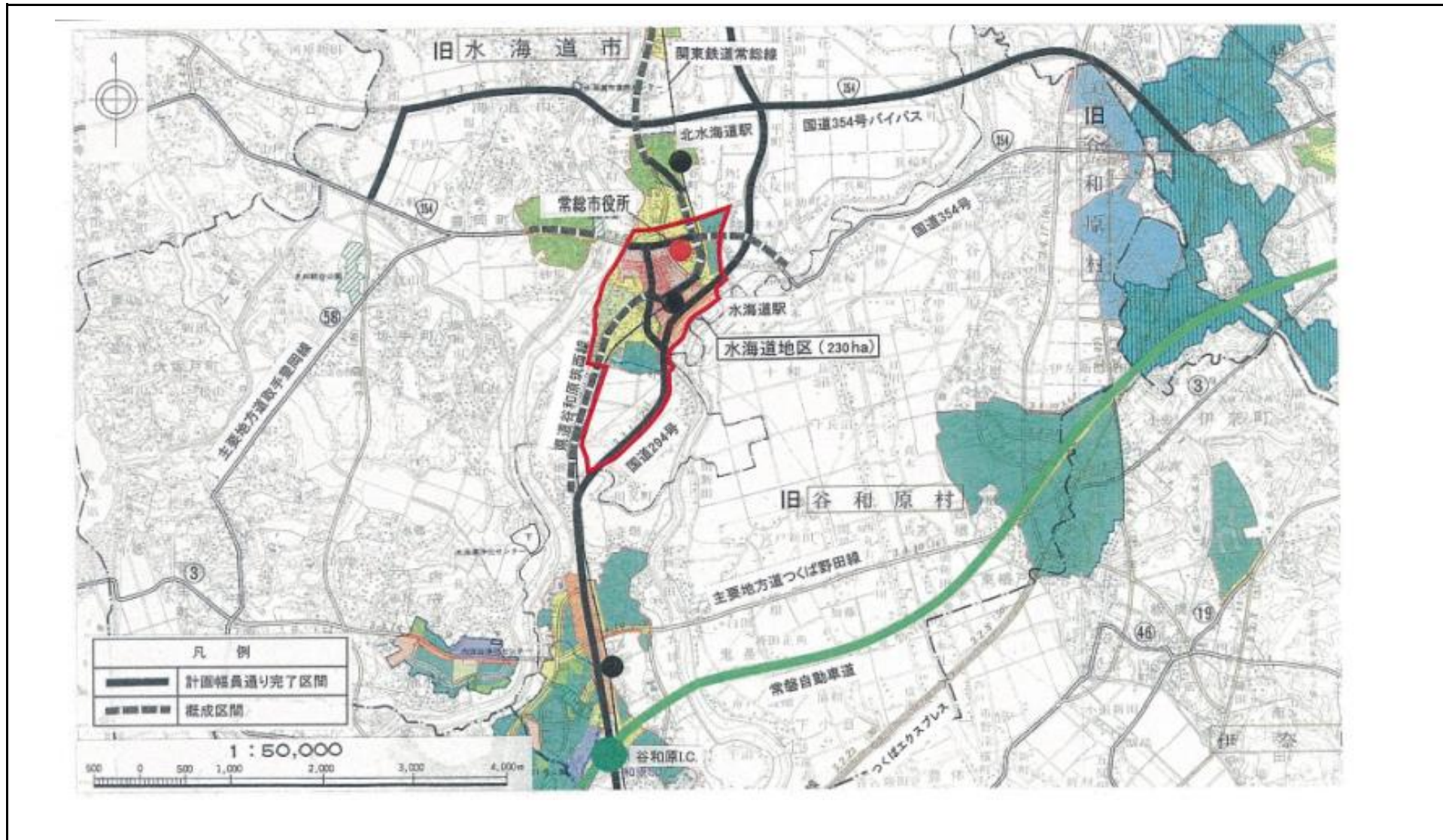
平成23年3月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(中心市街地の基本的機能の再生)</p> <p>・市街地への来街動機を増加させるため、基本となる商業機能の再生と、市街地に変化と名所性を創出するための新たな方策を調査・検討する。そのため、商工会や市民と連携を図りながら、空地・空店舗の活用やイベントの実現について協議・実施を行う。</p> <p>・また、水海道市街地に関するワークショップで示された市民意向をもとに、市街地への来街目的となる交流拠点の整備を行う。</p>	<p>安心して歩けるみちづくり(基幹事業-高質空間形成施設)、空地・空店舗情報発信(提案事業-まちづくり活動推進事業)、まちづくり活動支援事業(提案事業-まちづくり活動推進事業)、(仮)にぎわい広場整備(基幹事業-地域生活基盤施設)、(仮)交流拠点施設整備事業(基幹事業-高次都市施設)</p>
<p>整備方針2(住民による市街地活性化活動の支援)</p> <p>・地域に残る歴史的資源の活用策や新たな魅力となるイベント等について、中心市街地に関連する組織や市民がアイデアを出し合う機会を提供し、新たな魅力の創出を図るための活動を支援する。</p>	<p>まちづくり活動支援事業(提案事業-まちづくり活動推進事業)</p>
<p>整備方針3(水海道駅を中心とする回遊環境の整備)</p> <p>・駅周辺や市街地の軸となる幹線道路について歩車道の段差解消を図り、利用者の安全性と快適性の向上、商業活動の円滑化を図る。また、路地を活用した散策を促進するため、回遊の目的となる拠点形成や歩行環境の向上を図る。さらに、新たな拠点となっているポリテクセンターや福祉施設から水海道駅までの連携を確保し、ポリテクセンター利用者を水海道市街地への来街者として中心市街地に引き込む施策の必要性が増加している。</p>	<p>都計道宝町山田線(基幹事業-道路改良)、安心して歩けるみちづくり(基幹事業-高質空間形成施設)、駅前道路歩道整備(基幹事業-県道歩道整備)、ポケットパーク(基幹事業-地域生活基盤施設)水海道南地区道路(基幹事業-道路新設)、市道1707号線(基幹事業-道路改築)</p>
<p>その他</p> <p>中心市街地では、「水海道TMO(まちづくりネットワーク)」が平成15年に認定され、官民が一体となって「千姫となごみのまち」をまちづくりのテーマとした街の魅力づくりに取り組んできている。</p>	

都市再生整備計画の区域

水海道地区(茨城県常総市)	面積 230 ha	区域 諏訪町、宝町、栄町、元町、本町、亀岡町の全部 橋本町、新井木町、淵頭町、山田町、高野町、天満町、川又町の一部
---------------	--------------	---



水海道地区(茨城県常総市) 整備方針概要図

目標	旧水海道の中心として誇りがもて、人が集まりにぎわいと活気のある暮らしやすさを実感できるまち「千姫となごみの街水海道」の実現	代表的な指標	中心市街地交流文化施設利用者数 (人) → 79,462 (H19年度) → 90,000 (H23年度) 水海道駅乗降客数(1日平均) (人) → 2,905 (H19年度) → 3,000 (H23年度)
----	---	--------	---

